

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容理解、登場人物の心情理解をすること。</li> <li>話を集中して聞き、正しく応答すること。</li> <li>経験したことや思ったことを、相手に正しく伝えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読むことの学習では、電子黒板やデジター等の視覚的教材を活用、また家庭学習等で音読に取り組む。段落ごとに区切りながら丁寧に読み進め、小集団の中で友達の意見を文字に起こして視覚的に捉え自分の考えに取り入れていく。</li> <li>書くことについては、行事について5W1Hメモを作成し、文にまとめていくことを繰り返し学習していく。</li> <li>聞くことについては、友達や教員にインタビューをする学習を通して、ビデオで聞いたことを視覚化して文にまとめるようにしていく。</li> </ul>
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科的学習には、実験や体験型学習を行い、正しく結果を読み取ること。</li> <li>社会的学習には、視覚的教材を有効に使い、正しく問題を捉えられること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科的学習では、児童の意欲を生かし、実験や体験したことを正しく捉えられたり、板書の視写や器具等の操作活動をしたりすることを教員が支援していく。</li> <li>社会的学習では、映像を使用し、理解を助ける。また体験型学習を取り入れ学びにつなげていく。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物を取り入れながら、10までの減法、加法を用いることができること。</li> <li>時計の模型を用いたり、日常的に時計を意識させたりして、時間を読めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック等の半具体物を操作して、常に10のかたまりを意識した活動を繰り返し行う。また10以下の数も視覚的に捉えられるようブロックなども使い繰り返し学習していく。</li> <li>繰り返しゲームを行い、時計の模型を操作して時間を読ませていく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを立てイメージをもてるようにすること。</li> <li>安全に気を付けて作業すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が事前に見本を作成し、それを見ることで、イメージをもたせ見通しを立てて活動を行う。場に応じて、けがをしないよう安全に活動できるよう支援していく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい運指で演奏すること。</li> <li>楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しむこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に楽譜と楽器に同じ色シールをはり、演奏の手助けをしていく。家庭と協力して繰り返し練習したり、スモールステップで1小節から取り組んだりすることで苦手感をなくしていく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを理解して協力していくこと。</li> <li>体力を養うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達を模倣するような声掛けをしたり、友達に声掛けしたりしてもらえるよう、交流学級担任と相談し、意図的な場やグループを設定していく。</li> <li>本人の体力を見て休憩を取りながら、短時間で集団に戻していく。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを言葉で表したり、相手の気持ちを理解したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の読み物を使い、劇をしたり、視覚的な教材を使い、登場人物の気持ちに寄り添ったりしながら考えていく。友達の意見を聞いて自分の考えに取り入れられるよう視覚的に文字に起こしていく。自分の意見を表現するのが難しい場合は選択肢から選ばせていく。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭科の学習を通して学んだことを自分の生活に取り入れていくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな模型を使い、模倣できるよう支援していく。家庭と連携し、家庭でも事前に練習してもらえるよう声掛けしていく。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく活動し英語のフレーズに触れ、アルファベットに慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体指導での発語練習のとき、教員と一緒に言ったり、言うよう声掛けしたりする。アルファベットを写せるようなぞりにしたり、手本を手元に用意したりして書けるようにしていく。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べて分かったことや体験したことを、自分の言葉で表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を事前に伝え、イメージしやすいように視覚的教材や見本などを用意する。</li> <li>いくつかの選択肢の言葉から、選んで表現させていく。</li> <li>発表は家庭と協力して支援していく。</li> </ul>

学級経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学級において多様な経験を積むこと。</li> <li>・自己肯定感を高め自己表現していくこと。</li> </ul>	<p>○友達とたくさんの関わりがもてるよう、教員が場の設定をして適切な距離感をもって見守っていく。良い関わりができたときは、その場で褒めて達成感を感じさせていく。</p>
------	--	---

成果○ と 課題▼	
国語	<p>○読むことの学習では、視覚的教材を使用することで、語句のまとまりを意識して読めるようになってきた。</p> <p>○書くことについては、行事については視覚的教材を使用して教員と思い出しながら言葉にしたあと、メモに起こしてから、作文を書くことができた。</p> <p>○聞くことについては、集中して聞くことが難しい児童がいたので、ビデオ録画して繰り返し聞くことで、文にまとめることができた。</p> <p>▼聞く学習を1学期に1回しかできなかったため、増やしていく。</p> <p>▼教科書の読み物教材が長いので、読むことに取り組むことが難しい児童がいた。教科書読み物教材を短くしたり、他教材を使用したりする工夫も必要である。</p>
生活単元	<p>○理学的学習では、児童の意欲を生かし、交流学級で実験を協力して行うことができた。</p> <p>○理学的、社会的学習を支援級で学習している児童は主に映像で学習することで、理解を深めることができた。</p> <p>▼社会的学習を交流級で学習している児童は、集中して聞くことが難しい場面があった。</p>
算数	<p>○ブロック等の半具体物の操作活動を繰り返し行ったため、5のかたまりを意識して捉えることができた。10の数も継続的に続けていくことが有効である。</p> <p>○時計の模型を用いたりゲームを用いたりして楽しんで活動することにより、意欲をもって繰り返し学習することができた。</p> <p>▼10の数の合成分解の定着をすることができなかった。繰り返し指導が必要である。</p>
図工	<p>○教員が事前に見本を作成し、それを見ることで、イメージをもたせ見通しを立てて活動することができた。</p> <p>○場に応じて、教員が付添いけがをしないよう安全に活動できるよう支援した。</p> <p>▼自分のイメージをなかなか言葉で表現することが難しい児童がいた。</p>
音楽	<p>○事前に楽譜と楽器に同じ色シールをはり、演奏の手助けをした。</p> <p>○家庭と協力して繰り返し練習したり、スモールステップで1小節から取り組んだりすることで苦手感をなくした。</p> <p>▼周りの音を聞いて合わせて演奏することが難しかった。教員が「ゆっくり」と声掛けした。</p>
体育	<p>○友達を模倣して動いたり、友達が声掛けしてくれたりすることで、グループで活動することができた。</p> <p>○意図的なグループ活動により、大人が声掛けすることが少なくすることができた。</p> <p>▼グループでの試合形式の活動は流れが早くついていくことが難しかった。</p>
道徳	<p>○劇をしたり、視覚的な教材を使用したりすることで、登場人物の気持ちに寄り添って考えることができた。</p> <p>▼友達の意見を聞くことが難しい児童がいた。</p>
家庭	<p>○家庭と連携し、家庭でも事前練習することで、実習に落ち着いて参加することができた。</p> <p>▼待つことが難しく、落ち着かない場面があった。</p>
外国語	<p>○全体指導の時、声掛けしたり、教員と一緒に声を出したり言うことで、児童も全体と一緒に声を出して言うことができた。</p> <p>▼アルファベットを書くことが困難な児童がいるため、個別に時間をとって指導することが必要である。</p>

総合	<p>○自ら調べて、個別に課題をもつことが難しかったので、家庭に相談し、支援学級で指導した。支援学級で個別に指導することで、個別に課題をもち、調べることができた。</p> <p>▼交流学习のみでは児童に課題意識を持たせることが難しい。</p>
学級経営	<p>○学習内容を事前に伝えたり、視覚的教材を使用したりすることで、児童がイメージをもって活動に取り組むことができた。</p> <p>▼事前に長期的に学習内容を交流学习級と計画、実行することが難しい。</p>